

臨床検査医学講座

Department of Laboratory Medicine

旭川医科大学 臨床検査専門研修プログラム

をご紹介します

臨床検査専門医とは？

新専門医制度において19基本領域の1つ

臨床検査はEvidence Based Medicineにおける客観的な指標として、診療にかかせません。
臨床検査の全般において、その品質の向上と維持に努め、適切かつ信頼性の高いサービスを通して良質で安全な患者診療に貢献する専門医が臨床検査専門医です。

全国に 693名
北海道に 17名 (2016年8月)

旭川医科大学臨床検査専門研修プログラム

＜目的と使命＞

- 1) 臨床検査に関する知識、技能を習得すること。
- 2) 臨床検査を通して診療に貢献すること。
- 3) 臨床検査の研究法を習得すること。
- 4) 医師として適切な態度と高い倫理性を備えることにより、患者・メディカルスタッフに信頼され、プロフェッショナルとしての誇りをもつこと。
- 5) 臨床検査専門医の育成を通して国民の健康・福祉に貢献すること。

研修施設

専門研修基幹施設：旭川医科大学病院

専門研修連携施設：北海道大学病院
日本赤十字社北海道ブロック血液センター
市立旭川病院

基本科目

専門医受験資格に必要となる下記項目について認定研修施設における研修を行います。

- a) 臨床検査医学総論
- b) 一般臨床検査学・臨床化学
- c) 臨床血液学
- d) 臨床微生物学
- e) 臨床免疫・輸血学
- f) 遺伝子関連検査学
- g) 臨床生理学

どのような専門知識を得るの？

- 1) 各臨床検査の基礎医学的背景、方法論、臨床的意義を説明できる。
- 2) 患者の性・年齢を含む特性に応じた臨床検査値を説明できる。
- 3) 試料採取や患者準備から測定、結果報告に至るまでのプロセスにおける検査値に影響する要因を説明できる。
- 4) 精度管理や精度保障を説明できる。
- 5) 内部精度管理技法を説明できる。
- 6) 外部精度管理の評価法を説明できる。
- 7) 臨床的に最適で、費用効率が高い検査と、検査に基づいた診断・治療方略の作成法を説明できる。
- 8) 感染対策、栄養管理、遺伝子医療、医療安全などのチーム医療における臨床検査の役割を説明できる。
- 9) 以上の知識水準は、臨床医を含む医療者によどみなく説明できるレベルを目指す。
- 10) 以上の知識基盤を常に維持し、発展させる姿勢を必要とする。

どのような専門技能を得るの？

- 1) 臨床検査データを判読し、患者の病態を評価し報告書を作成することができる。
- 2) 臨床検査値が異常となるメカニズムを追求し、該当患者診療に活用するとともに、概念を普遍化し、広く医療に役立てることができる。
- 3) 病態以外の臨床検査値の誤差要因を測定前、測定、測定後のプロセスに分けて評価、判断することができる。
- 4) 基本的な臨床検査技能（採血等の検体採取、尿沈渣標本作成と鏡検、血液塗抹標本作成と鏡検、蛋白分画・免疫電気泳動・アイソザイムなどの分離分析、血液型判定、グラム染色、抗酸菌染色、心電図、超音波検査、ほか）に習熟し、指導・助言することができる。
- 5) 新規検査項目の導入や開発に関して、指導・助言・管理することができる。
- 6) 臨床検査医学の分野での研究能力を養い、将来的に研究指導を行うことができる。
- 7) 臨床検査医学に関する教育に寄与する。
- 8) 感染対策、栄養管理、遺伝子医療、医療安全などを含めたチーム医療のリーダーまたはメンバーとして臨床検査の専門家の立場で活動することができる。

臨床検査医学講座における ワークライフバランス

をご紹介します

活躍する先生

H28年4月 講座初めての医員（病院臨床検査・輸血部所属）を迎えました。



内科認定医
循環器専門医
を取得しています。
心臓カテーテル検査などの
循環器内科の研修も終了。

H29年1月には第三子を出産し、3月まで育児休暇を取得したのちに、4月から育児短時間勤務を利用して職場復帰しています。

小学生、保育園児年中さん、乳児の3人のお子さんのママとして、また、医師として、忙しいけれども頼りにされる充実した日々を送っています。

現在は得意とする経食道心エコー・経胸壁心エコー・頸動脈エコーの検査業務を行っています。

お子さんが3人に増えたために昨年までとは違う生活リズムとなり、現在ワークライフバランスを若干調整中ですが、今後は臨床検査学についても研修予定です。

臨床検査・輸血部の医師に日当直はありませんが、業務が保育園のお迎えまでに終わらないことも多いため、ご主人が子供を見てくれる休日や平日の夜に来院し、仕事をすることもあります。

臨床検査医学会では

臨床検査医学会は「ワークライフバランス委員会」が中心となり、ワークライフバランスを推進しています。2016年の日本臨床検査医学会学術集会において日本臨床検査医学会ワークライフバランス委員会、教育委員会、日本臨床検査専門医会教育研修委員会共催のワークショップ「新専門医時代～臨床検査医学がアピールできること」が開催されました。



臨床検査医として働くことの魅力って？

- 広い視点で、診療に関わることができる。
- 働き方は比較的多様性に富む。
- 検査はどの診療科においても必須であるゆえ、臨床検査技師さんを含めた多職種からなるチーム医療の礎に関わることができる。
- 時間を自分でマネジメントしやすい。
- キャリアアップもライフワークバランスも望める。

臨床検査医のキャリアアップって？

- 臨床検査専門医の取得
- 感染対策、栄養管理、遺伝子医療、医療安全などにおける知識を得る
- 専門診療科に関する検査のさらなる研鑽
- 臨床検査医学の分野における研究
- 臨床検査医学の分野における教育
- 臨床検査医学の分野における管理業務